

# 学 校 研 究

## 1. 研究主題

自分の思いや考えを伝え合い、よりよい学校生活を築こうとする児童の育成  
～伝え合い、つながり合う活動を通して～

## 2. 研究仮説

特別活動において、児童の実態に応じた議題や題材を設定し、自分の考えの  
たせ方や、互いの思いや考えの違いを出し合い認め合う場の工夫をすれば、自分  
の思いや考えをしっかりと表現し、よりよい学校生活を築こうとする子ども  
が育つであろう。

## 3. めざす子ども像

- 自分の考えを正しい言葉で相手に伝えることができる子ども
- 友だちの考えを聞き、よさを認め、自分との違いがわかり、折り合いをつけることができる子ども
- 相手のことを考えて行動できる子ども
- 互いに認め合い、よりよい人間関係を築こうとする子ども

### \*「伝え合う」とは

- 人間と人間との関係の中で、お互いの立場や考えを尊重し、言語や表情、動作を通して適切に表現したり、正確に理解したりすること

### \*「つながり合う」とは

- お互いのよさや協力し合うことの大切さに気づき、仲間とともに生き生きと活動すること。

## 4. 研究内容

授業研究では

- 自分の考えをもつ場の工夫の検証
  - ・児童及び学級の実態に応じた題材を設定する。
  - ・自分の考えを発表したくなるような課題を設定する。
  - ・自分の考えに自信を持たせる支援や手だてを工夫する。
- 話し合いの仕方や伝え合う場の工夫の検証
  - ・自分の考えを持たせる手だてを探る。
  - ・友達の考えのよさや違いをはっきりさせて認め合う（折り合う）話し合いの仕方を工夫する。
  - ・お互いのよさや違いを認め合う活動の場を工夫する。
- 効果的な教師の出番の検証
  - ・計画段階での指導・助言のあり方について検証する。
  - ・話し合い活動における指導・助言のあり方について検証する。

## 5. 研究方法

- ・提案授業は、年4回（道徳研と低中高から1回ずつ）行い、授業実践を通して研究主題・研究仮説を検証する。また、成果と課題を把握する。
- ・全体研を行わない学年も、部会研で検証授業をする。
- ・授業研究では、3週1サイクルを基本とし、本時案検討①・本時案検討②・授業研、事後研を行う。
- ・校内研修に特別支援教育、人権・同和教育、生徒指導等を計画的に位置づけ、課題を共有しながら連携を図っていく。

## 6. 研究組織

- ・全体研、部会研（低中高で組織する）
- ・提案授業の場合は、その部会で司会・記録をする。